

ワークショップについて（案）

1 分野別ワークショップについて（4分野×3回）

(1) 日程、検討項目等

分野	日時等	第1回	第2回	第3回
福祉・健康	検討項目	高齢者福祉	障害者福祉	生活福祉、健康づくり、生活衛生環境
	日時	10月11日（日）	11月8日（日）	11月22日（日）
午前9時30分～11時30分				
子育て・教育	検討項目	子育て支援	教育	青少年の健全育成
	日時	10月11日（日）	11月8日（日）	11月22日（日）
午後1時30分～3時30分				
コミュニティ・産業・文化	検討項目	地域コミュニティ、産業振興	生涯学習、文化振興、スポーツ振興	観光、交流
	日時	10月12日（月）	11月7日（土）	11月21日（土）
午前9時30分～11時30分				
まちづくり・環境	検討項目	住環境	環境保護	災害対策、防犯・安全対策
	日時	10月12日（月）	11月7日（土）	11月21日（土）
午後1時30分～3時30分				

(2) 各回の検討内容

回	検討内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たなる基本構想の目的・役割、全体スケジュールの説明 ・ ワークショップの目的・進め方の説明 ・ 将来像（キャッチフレーズ、具体的内容）、基本的取組に関する説明 ・ 将来像（キャッチフレーズ、具体的内容）、基本的取組の検討 ・ まとめ
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回のワークショップで話し合った内容の確認、質問に対する回答 ・ 将来像（キャッチフレーズ、具体的内容）、基本的取組に関する説明 ・ 将来像（キャッチフレーズ、具体的内容）、基本的取組の検討 ・ まとめ
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回のワークショップで話し合った内容の確認、質問に対する回答 ・ 将来像（キャッチフレーズ、具体的内容）、基本的取組に関する説明 ・ 将来像（キャッチフレーズ、具体的内容）、基本的取組の検討 ・ まとめ

(3) 検討の進め方

	項目	内容
1	骨子内容【将来像（キャッチフレーズ、具体的内容）、基本的取組】を理解する。	事務局から説明を行う。
2	区の現在の実施計画事業と骨子の基本的取組について考える。	骨子内容及び現状における主な実施計画事業の説明を踏まえて、実施計画事業から、基本的取組について考える。
3	アイデアを発表しあい、似通った内容をまとめる。	参加メンバーから出されたアイデアについて、似通った内容をグループ化してまとめる。
4	まとまったアイデアを確認する。	グループ化したアイデアがどの骨子の基本的取組に該当するかを確認する。 該当しないものは、見出しをつけ、新たな項目として追加する。
5	基本的取組と将来像（キャッチフレーズ・具体的内容）について考える。	3, 4で検討した基本的取組から、将来像について考える。
6	将来像（キャッチフレーズと具体的内容）についての意見をまとめる。	将来像について、加除訂正を検討する。
7	ワークショップとしての提案をまとめる。	基本的取組や将来像の文言の追加等について、提案事項を確認する。
8	本日のワークショップに参加した感想や質問を記入する。	振り返りシートを作成し、提出する。

第1回「福祉・健康」ワークショップ 「高齢者福祉」

【将来像】

<キャッチフレーズ>

歳を重ねても、いきいきと自分らしく暮らせるまち

<具体的内容>

高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で、自立した暮らしができるよう、^{②③⑥}自助・互助・共助・公助の組み合わせによって、地域全体で支え、安心して暮らせる^⑤。居住空間の整備や様々なバリアフリー化、活躍できる場づくり等の高齢者福祉施策の向上を図り、生涯にわたって、^{①④}いきいきとその人らしい生活を送れるまちを目指します。

【現状について】

(基本的取組)

(事例<現状の主な実施計画事業より>)

①高齢者の知識、経験、能力を活かした社会参加や高齢者自らによる介護予防への取り組み等を促進し、地域や事業者と協力・連携しながら、高齢者の生きがいづくりを推進します。

- ・ 高齢者のためのサロン設置の検討
- ・ 地域に密着した高齢者支援
- ・ 高齢者いきいき入浴事業

②閉じこもり予防や非常時・災害時の対応のため、地域での見守りや支え合いを推進します。そのため、民生委員、町会等からの一層の協力や、地域のボランティア活動の活性化を図ります。

- ・ 緊急通報システムの整備
- ・ 区内民間特別養護老人ホーム等建設助成

③介護家族の負担軽減のため、地域全体で高齢者を支える仕組みやショートステイ等の居宅での介護を支えるサービスの充実、相談対応等、負担軽減のための環境づくりを推進します。

- ・ 高齢者等（高齢者・障害者・ひとり親世帯）入居支援事業

(基本的取組)

(事例<現状の主な実施計画事業より>)

④高齢者の権利擁護として、成年後見制度に関する情報提供や普及啓発を図り、また、虐待防止に向けては地域や関係機関等の連携・協力体制の構築を図り、高齢者の人権が尊重される社会を目指します。

・権利擁護の推進及び成年後見制度の普及

⑤区や地域、事業者等と高齢者自身や家族も含めた役割分担を明確化し、自助・互助・共助・公助を適切に組み合わせることによって、バリアフリー化や住まいと施設の整備等のハード面と、介護、医療体制の充実等のソフト面の両面から、高齢者が安心して暮らせる生活環境を整備します。

・バリアフリーの道づくり
・だれでもトイレづくり
・安全・安心な公園づくり

⑥要介護高齢者は医療ニーズと介護ニーズを合わせ持つことから、医師や医療機関等との連携の強化を図ると共に、地域包括支援センターを核とした保健・医療・福祉の連携による地域ケア体制の充実や総合的な相談体制の強化を図ります。

・介護保険制度の充実
・介護老人保健施設建設費補助
・文の京介護予防体操の普及

2 地域別ワークショップについて（4地域×2回）

(1) 日程、検討項目等

地域名（会場）	第1回	第2回
検討項目 【各地域共通】	子育て教育 福祉・健康	コミュニティ・産業・文化 まちづくり・環境 行財政運営
本駒込交流館 （地下2階 ホール）	10月31日（土） 午前9時30分～正午	11月28日（土）
不忍通りふれあい館 （地下1階 ホール）	10月31日（土） 午後2時～4時30分	11月28日（土）
アカデミー音羽 （3階 学習室A）	11月1日（日） 午前9時30分～正午	11月29日（日）
シビックセンター （11/1：3階 障害者会館 会議室A・B） （11/29：地下1階 アカデミー文京 学習室）	11月1日（日） 午後2時～4時30分	11月29日（日）

(2) 各回の検討内容

回	検討内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなる基本構想の目的・役割、全体スケジュールの説明 ・ワークショップの目的・進め方の説明 ・第1回の検討テーマに沿った、新たなる基本構想骨子の説明 ・将来像、基本的取組のアイデアの検討 ・まとめ
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のワークショップで話し合った内容の確認、質問に対する回答 ・第2回の検討テーマに沿った、新たなる基本構想骨子の説明 ・将来像、基本的取組のアイデアの検討 ・まとめ

(3) 検討の進め方

	項目	内容
1	新たなる基本構想とワークショップの目的を理解する。	事務局から説明を行う。
2	地域の課題について、理解を深める。	地域の課題をシートに記入して、意見を出し合う。
3	地域の課題に基づく将来像、解決するアイデアの意見を出し合う。	地域の課題を踏まえて、将来像や課題解決のアイデアについて検討する。
4	アイデアの内容を確認し、似通った意見をまとめる。	参加メンバーから出されたアイデアについて、似通った内容をグループ化してまとめる。
5	まとまったアイデアを確認する。	グループ化したアイデアがどの基本的取組に該当するかを確認する。 該当しないものは、見出しをつけ、新たな項目として追加する。
6	ワークショップとしての提案をまとめる。	将来像及び基本的取組の文言の追加や、項目の追加等について、提案事項を確認する。
7	本日のワークショップに参加した感想や質問を記入する。	振り返りシートを作成し、提出する。